

miratap

アルミフレーム建具

クアドロスリム

FIX 連結 (2 連結・3 連結・4 連結)

取扱説明書 (保証書付) (W1500 ~ W4800)
組立設置説明書 04-QD39T-03

本体や機器に付属の取扱説明書は、設置完了後にお客様にお渡しください。

- 施工の前に、本説明書をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- 本製品は住宅およびそれに準じる居住空間に使用するインテリア専用部材です。他の用途へのご使用はおやめください。
- 屋外および浴室など水分と接する部位には使用しないでください。

●安全上のご注意

ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果 (傷害、物損) に結びつくおそれがあります。必ずお守りください。

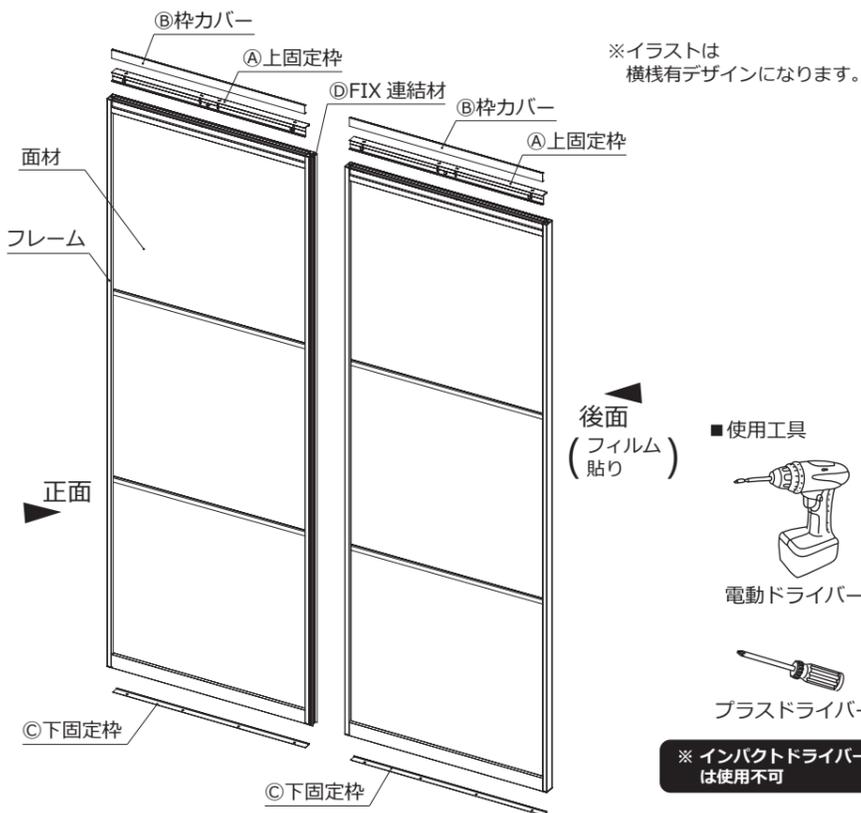
- 「2人以上で作業する」
1人作業では商品の落下などによりケガをするおそれがあります。
- 「必ず付属の金具・ねじにて施工する」
商品を実際に固定できず、破損・落下によりケガをするおそれがあります。
- 「ねじの固定し過ぎ/固定に注意する」
ねじを固定する場合は、電動ドライバーなどでの締めすぎによる空回り、頭つぶれのないようにする。守らないと、扉などが落下してケガをするおそれがあります。
- 「下穴をあけてから、ねじで固定する」
下穴がないと材が割れたり、ねじ切れるおそれがあります。
- 「上固定枠は天井面の躯体へ確実に固定する」
確実に固定しないと、落下してケガをするおそれがあります。

⚠ 警告 「死亡または重傷を負うおそれがある」内容

- ⊘ 分解・改造はしないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- ⊘ この製品は耐火構造ではありませんので、火の気の近くでのご使用は避けてください。
- ⊘ 衝撃によるガラス破損
扉にぶらさがったり、寄りかかったり、ぶつかったり、ガラスに強い衝撃を与えたり、物をぶつけたりしないでください。ガラスが割れてケガをするおそれがあります。特に小さなお子様には十分ご注意ください。
- ⊘ この製品表面に吸盤フック等の使用や、横棧部分等の使用による、物の吊り下げをしないでください。製品を傷つけたり、製品の落下によりケガをすることがあります。

1 各部の名称

◎クアドロスリム FIX2連結



■使用金具一覧 (組立前に必ずご確認ください。A~F、①~③の番号は設置の際に参考にしてください。)
※上記イラストは FIX 2 連結です。使用金具も 2 連結用の個数となっています。

 2本	 2本	 2本	 1本	 1本	 1本
 8本	 8本	 8本	※A③は扉上部に仮固定梱包されています。 ※E⑥は扉に取付けます。		

⚠ 注意 「障害を負うことや物的損害が発生するおそれがある」内容

- ⊘ 枠をコンクリートやモルタルに直付けしないでください。
- ⊘ 製品の保管は、湿気や直射日光の当たる場所を避けてください。また、立てかけた状態での保管は、やめてください。保管状態が悪いと、反りやねじれの原因となります。
- ⊘ 枠の組立てには、同梱のねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂れ下がり・ゆがみなどの原因となります。
- ⊘ 取付けねじは確実に締め付けてください。締め付けがゆるいと使用中に取付けねじがゆるみ、製品が脱落してケガをするおそれがあります。
- ⊘ 枠を躯体へ取付ける際は、水準器・下げ振り等で必ず水平・垂直になっているか確認してください。
- ⊘ 部品に潤滑油やグリスを注さないでください。部品の割れや変形、変色を生じるおそれがあります。
- ⊘ 施工後は、キズや汚れを防ぐために、ダンボール等で養生してください。

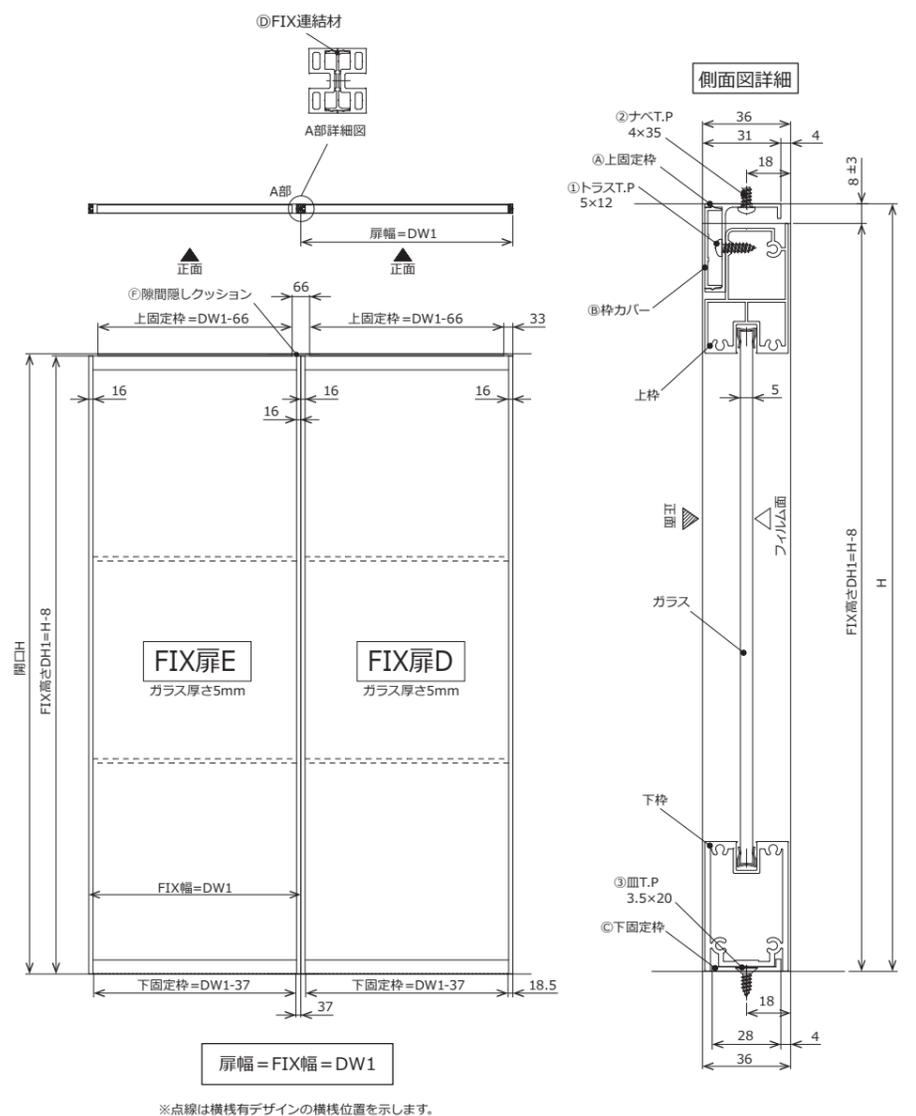
⚠ 施工上の注意 「物的損害が発生するおそれがある」内容

上吊りタイプなので、天井側にかかる荷重が最大200kgになります。必ず構造計算のうえ、躯体に十分な強度をもたせて施工してください。

- ⊘ 上固定枠、下固定枠は傾き・ねじれ・ビスの締めすぎによる変形が無いように取付けてください。
- ⊘ インパクトドライバーは使用しないでください。調整は手動のドライバーを使用してください。
- ⊘ 本商品は仕上がり完成品ですので、ひっかき傷・打痕などには十分気をつけてください。
- ⊘ 必ず強度のある天井または枠に取付けてください。取付部の強度が不足している場合は落下の原因となります。
- ⊘ 必ず平滑な天井または枠に取付けてください。天井または枠に凹凸があると製品の破損につながるおそれがあります。
- ⊘ 表面が汚れた時は、やわらかい布に中性洗剤を水でうすめたものを含ませて、拭き取ってください。
- ⊘ アルミフレームは傷つきやすいので施工時に傷つけないように注意してください。

2 寸法図

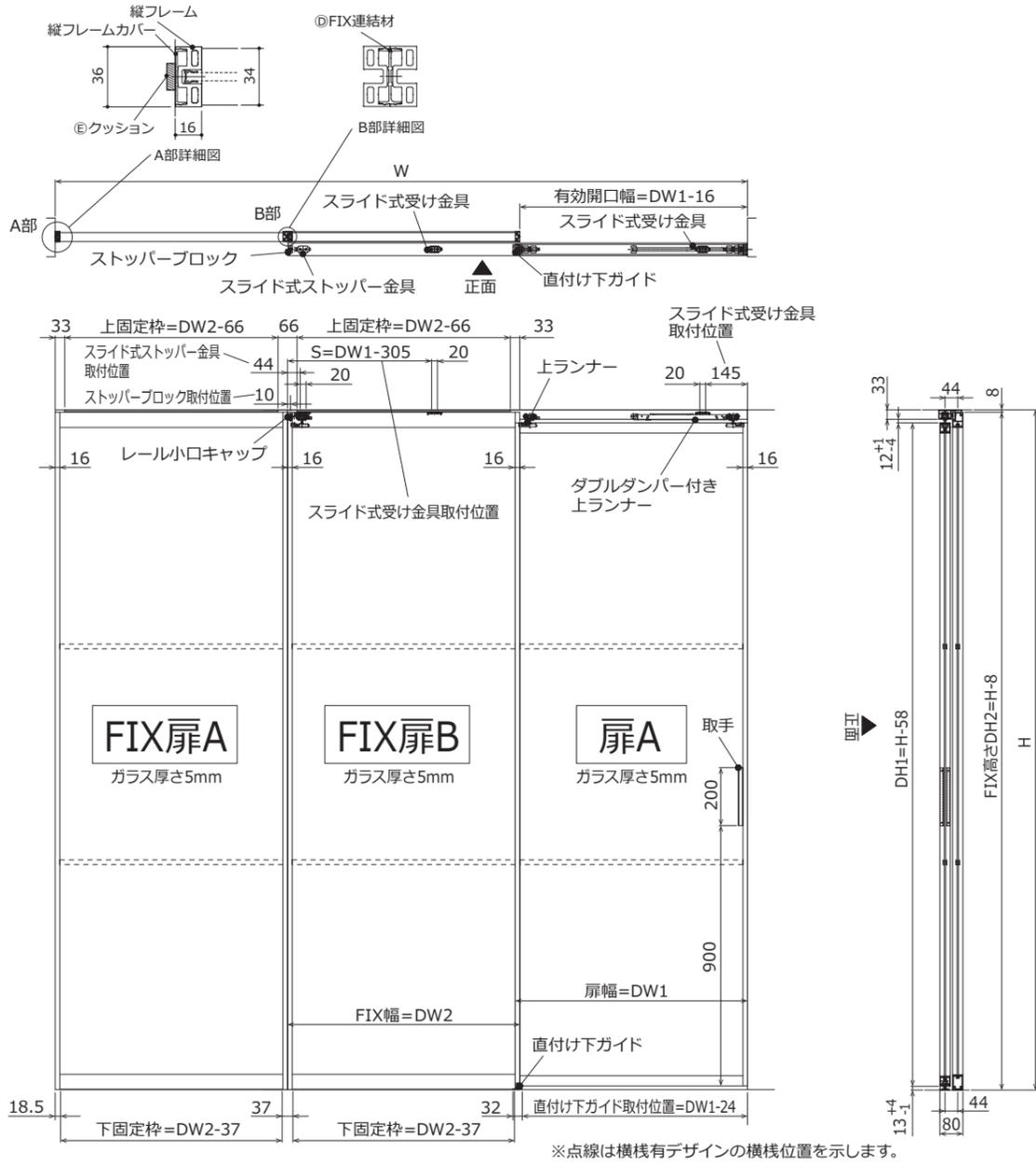
●FIX2連結



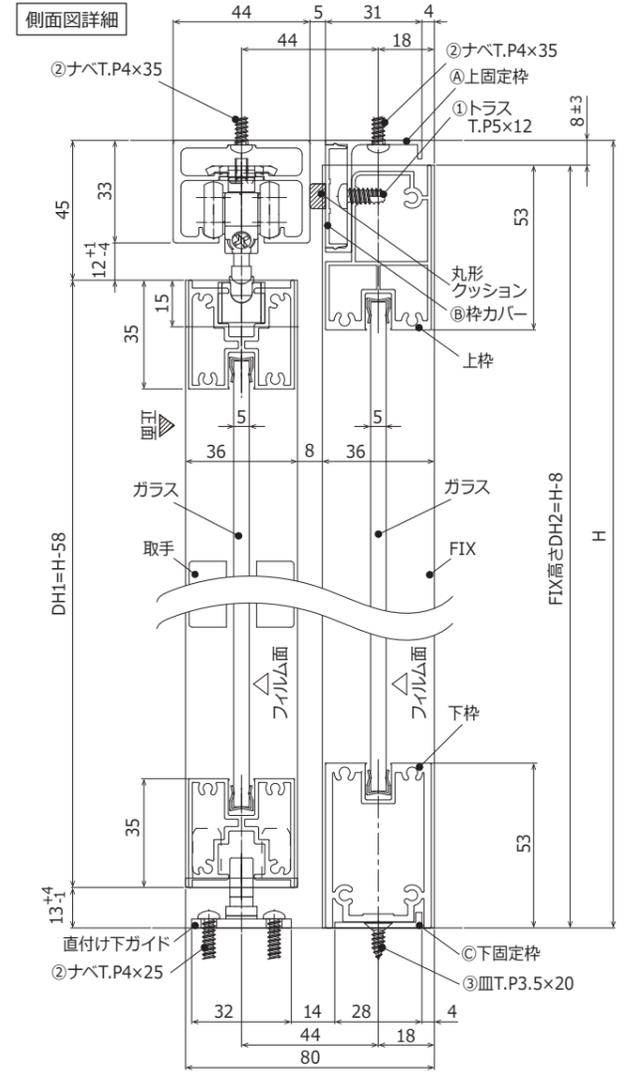
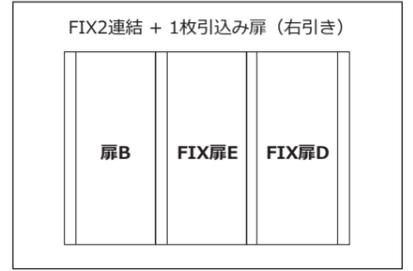
●FIX2連結 + 1枚引き込み(左引き)

※扉に対してFIXは最大3枚まで連結させることが可能です。

※扉はクアドロスリム
アルミフレーム建具です



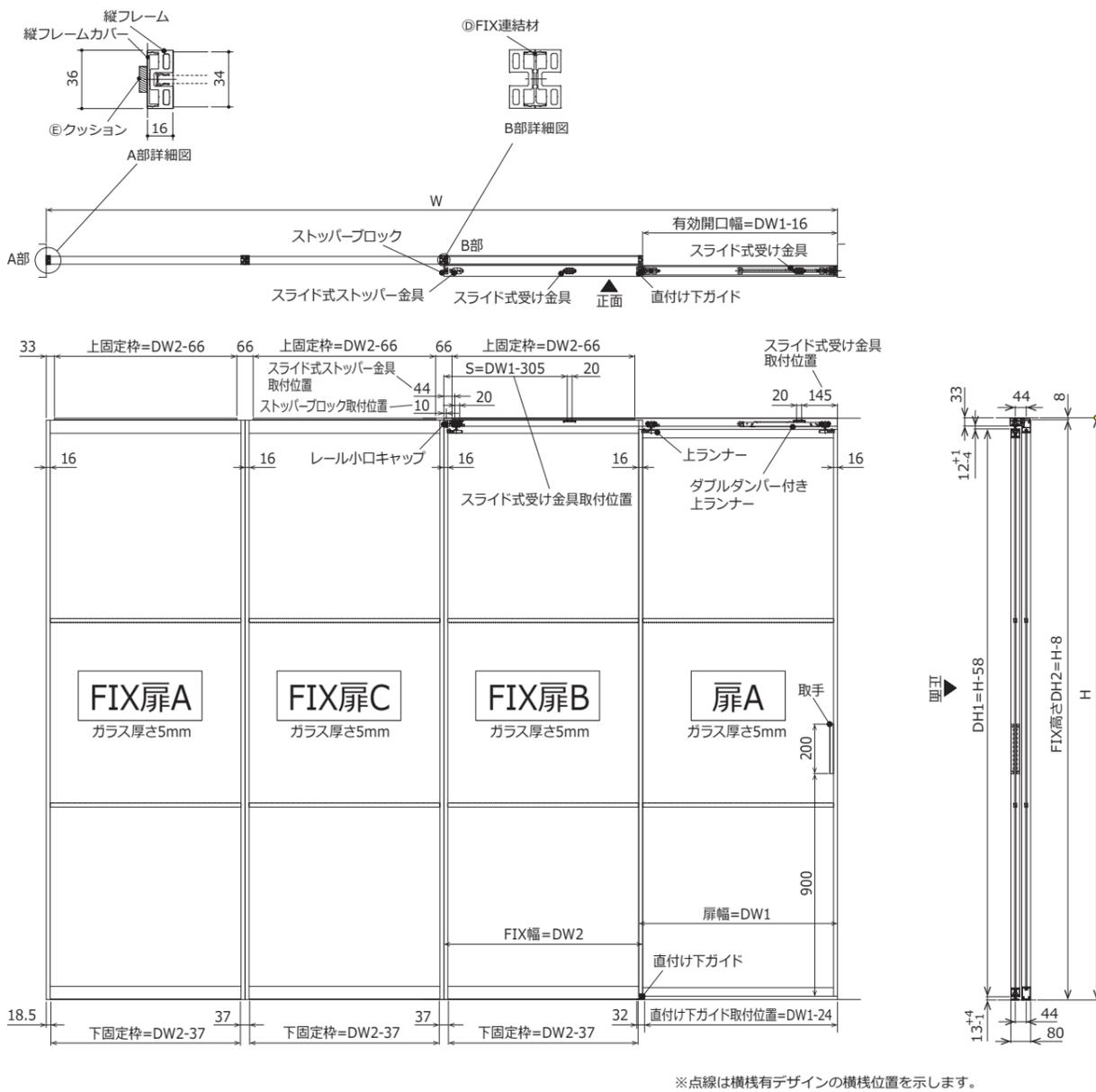
扉が右引きの場合



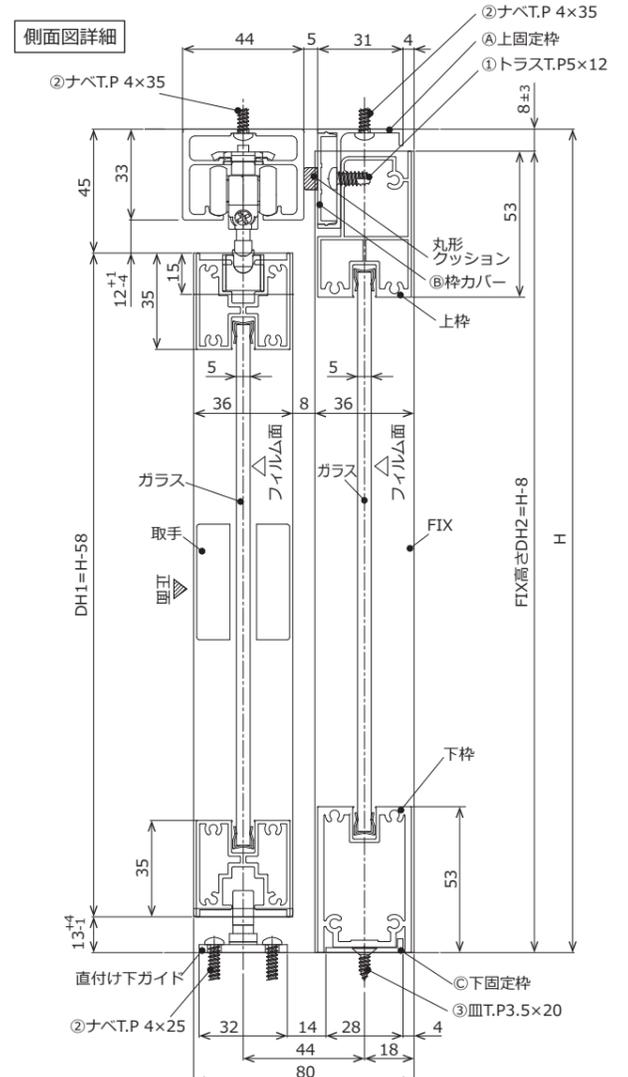
●FIX3連結 + 1枚引き込み(左引き)

※扉に対してFIXは最大3枚まで連結させることが可能です。

※扉はクアドロスリム
アルミフレーム建具です

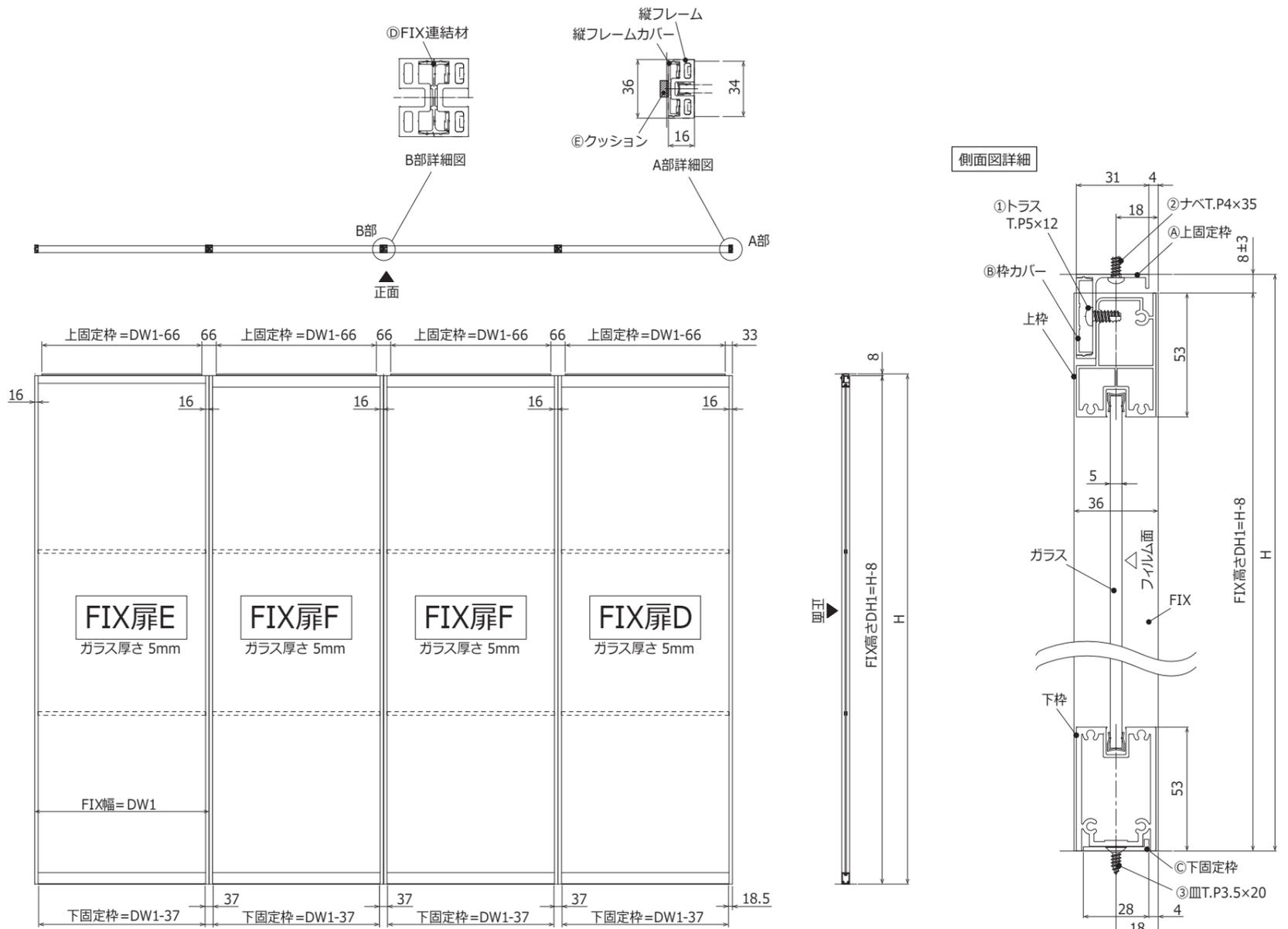


扉が右引きの場合



● FIX4連結

※FIX単体で最大4枚まで連結させることが可能です。

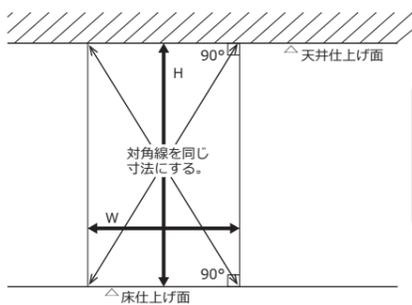


※点線は横棧有デザインの横棧位置を示します。

3 設置前の準備

《設置前のご注意》

- 梱包を開けて部品を確認してください。
- 開口部の幅・高さの寸法を十分に確保してください。
- 柱の垂直、床・まぐさの水平を、下げ振り・水準器でよく確認してください。
- 固定下地は扉重量が十分耐えうる構造としてください。



- 枠の寸法が守られないと建具の脱落・落下の原因となります。
- 寸法は2.寸法図にてご確認ください。

- 枠の水平・垂直を必ず確認してから取付けてください。水平・垂直が出ておらず、下図のようなことがあった場合、扉が閉まらない原因となります。
- 水平・垂直が出ない場合は木工ボンドを塗ったパッキンベニヤ(現場調達)等を入れて必ず調整を行ってください。



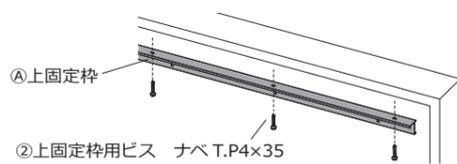
4 設置手順

- ※必ず、FIX連結扉から取付けを行ってください。
- 引き戸レールを先に取付けると、FIX連結扉を取付けることが出来なくなります。
- ※必ず、壁側FIX扉から取付けを行ってください。

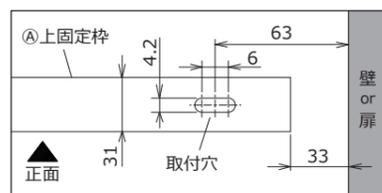
1. 固定枠の取付け

《上固定枠の取付け》

- ①A上固定枠を取付ける前に、取付位置に下穴を開けます。(推奨下穴：Φ3)
- ②下穴を開けた位置にA上固定枠を取付けます。

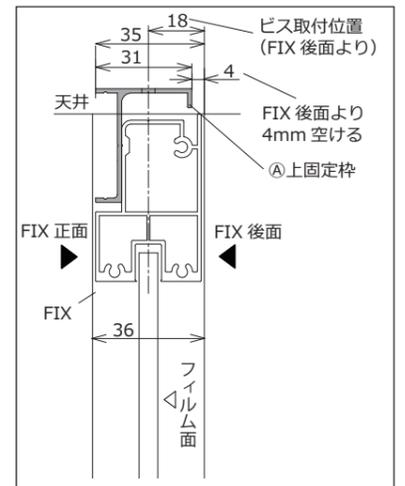


〈取付位置詳細 上から見た図〉



壁より33mmあけます。
取付穴は長穴です。
※2枚目以降のFIX扉を取付ける際は壁ではなく扉からの寸法になります。

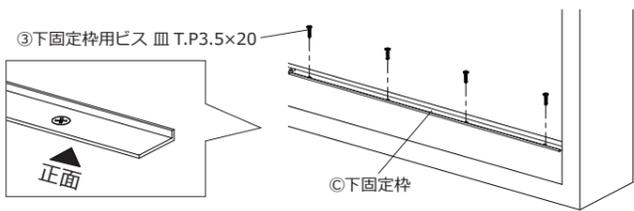
〈取付位置詳細 横から見た図〉



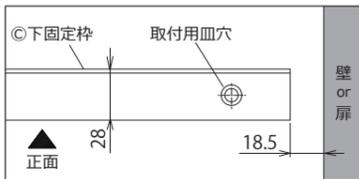
FIX後面より4mmあけます。
ビス取付位置は、FIX後面より18mmあけた位置です。
必ず指定のビス(②ナベT.P4×35)を使用してください。

《 下固定枠の取付け 》

- ① 下固定枠を取付ける前に、取付位置に下穴を開けます。(推奨下穴：Φ3)
- ② 下穴を開けた位置に下固定枠を取付けます。
このとき、下固定枠には向きがあるので注意してください。

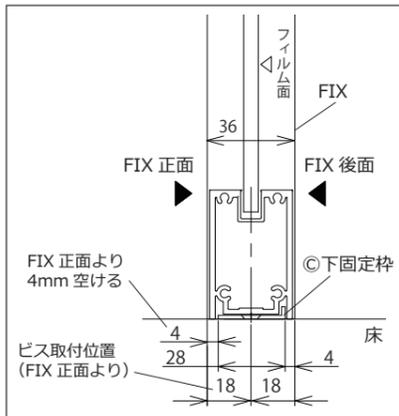


〈 取付位置詳細 上から見た図 〉



壁より18.5mmあけます。
取付穴は皿穴です。
※2枚目以降のFIX扉を取付ける際は
壁ではなく扉からの寸法になります。

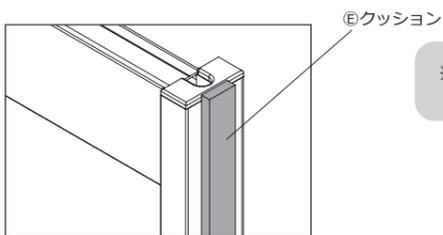
〈 取付位置詳細 横から見た図 〉



FIX後面より4mmあけます。
ビス取付位置は、FIX後面より18mm
あけた位置です。
必ず指定のビス(皿T.P3.5×20)を
使用してください。

2. クッションの取付け

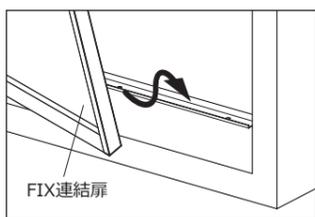
壁側のFIX側面にクッションを取付けます。



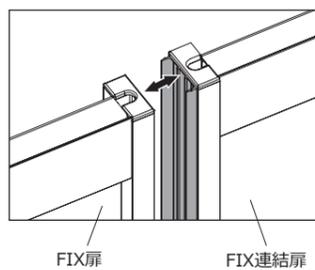
※クッションは扉側面の
中央に貼り付けてください。

5. FIX 連結扉の取付け (ホワイト / ブラックフレームの場合)

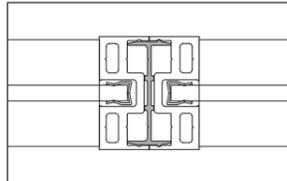
- ① 前述の、1.固定枠の取付け、3.シール材の充填、の手順を行います。
- ② 下固定枠にFIX連結扉の下溝を合わせます。



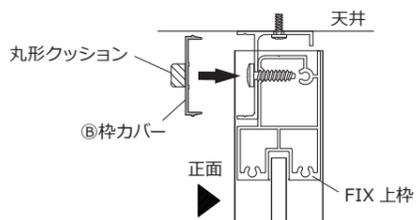
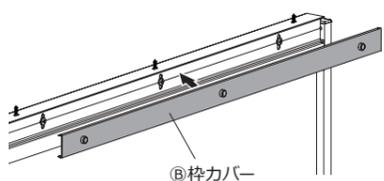
- ③ FIX連結扉の連結部分をスライドさせ連結させます。



〈 取付位置詳細 上から見た図 〉

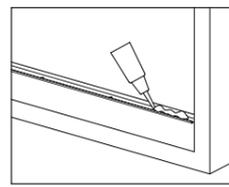


- ④ 上固定枠に枠カバーを取付けます。
※すべてのFIXに取付けてください。

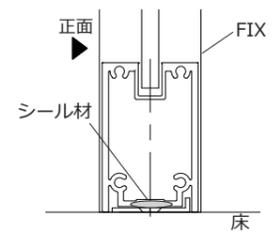


3. シール材の充填

シール材を下固定枠の突起部に充填してください。
ガタツキを抑えることができます。 ※シール材は現場調達してください。

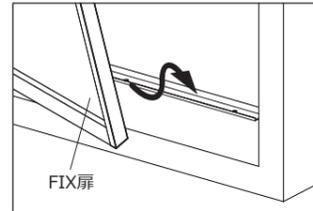


※シール材は現場調達してください。



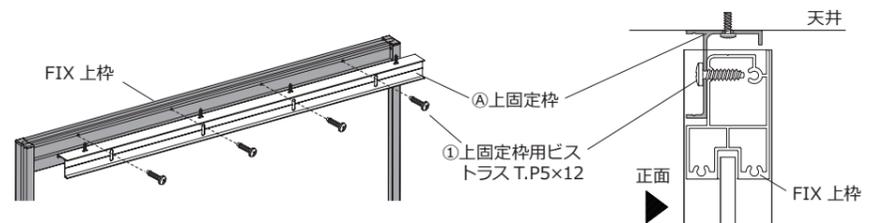
4. FIX 扉の取付け

- ① 下固定枠にFIX扉の下溝を合わせます。

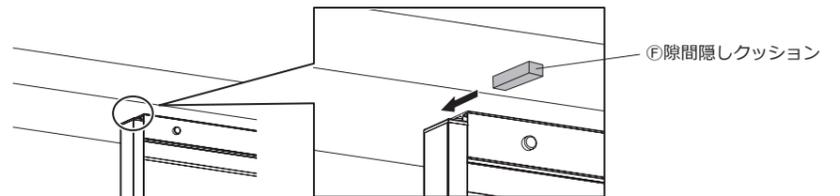


※シール材がFIX扉の意匠面に
付かないように注意してください。

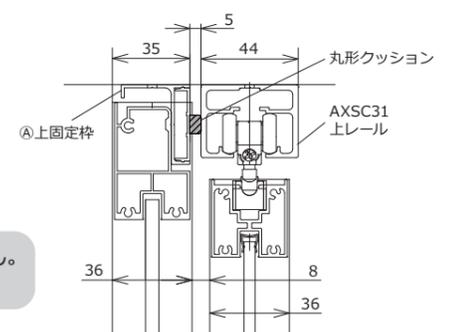
- ② 先に取付けた上固定枠に、FIX上枠を固定します。
固定するときは必ず、指定のビス(トラスT.P5×12)を使用してください。
※すべてのFIXに取付けてください。



- ③ FIX連結部分の上部に隙間隠しクッションを貼り付けます。
※必要な長さにカットして使用してください。



- ⑤ 丸形クッションについて
丸形クッションはFIX連結の隣にクアドロ
スリム建具を設置するときに、
使用するスペーサーです。
丸形クッションにより上固定枠と、
AXSC31 上レールの隙間5mmを
保持する事ができます。

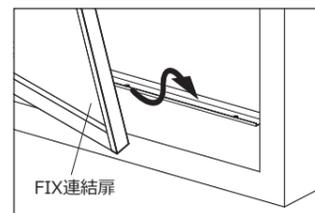


※FIX 単体で使用する場合は必要ありません。
施工後に取り外してください。

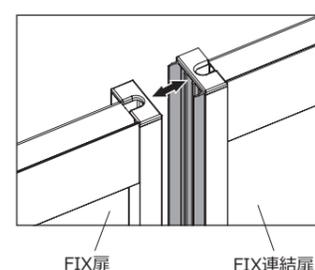
- ⑥ 3枚目以降のFIXがある場合は、4 設置手順の1.～5.の手順を繰り返し行ってください。

5. FIX 連結扉の取付け (ブロンズフレームの場合)

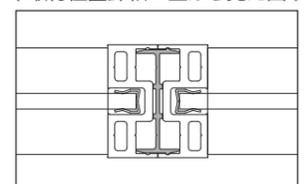
- ① 前述の、1.固定枠の取付け、3.シール材の充填、の手順を行います。
- ② 下固定枠にFIX連結扉の下溝を合わせます。



- ③ FIX連結扉の連結部分をスライドさせ連結させます。



〈 取付位置詳細 上から見た図 〉

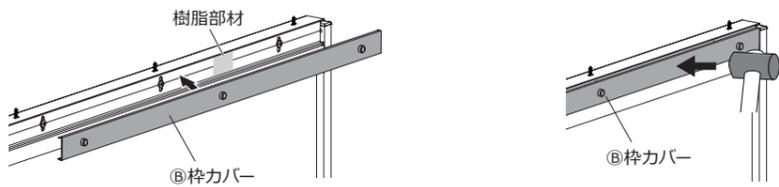


④ ①上固定枠に②枠カバーを取付けます。

ブロンズフレームの①上固定枠には、樹脂部材がついています。②枠カバーを樹脂部材と合わせてプラスチックハンマーでたたき込みます。

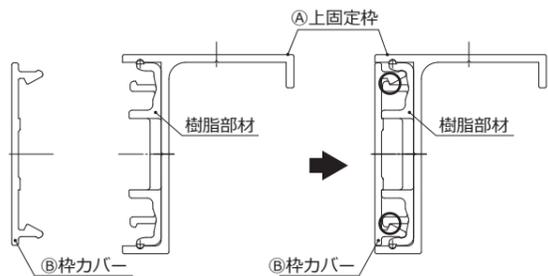
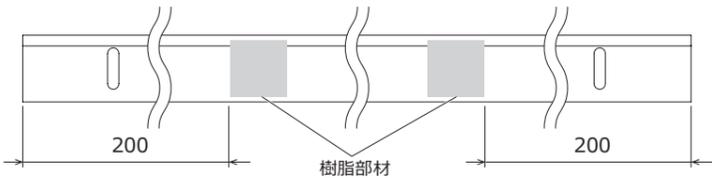
※樹脂部材についている、マスキングテープは外してください。

※すべてのFIXに取付けてください。



※たたき込む目安の寸法は下図を参考にしてください。

※所定の位置をしっかりとたたき込まないと、カバーが外れることがあります。



樹脂部材は①上固定枠についています。

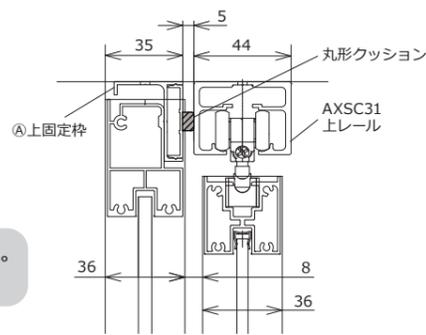
丸い部で樹脂部材とカバーが嵌合します。



○ ②枠カバーに浮いている部分があれば、再度プラスチックハンマーでたたき込んでください。

⑤ 丸形クッションについて

丸形クッションはFIX 連結の隣にクアドロスリム建具を設置するときに、使用するスペーサーです。丸形クッションにより①上固定枠と、AXSC31 上レールの間隙5mmを保持することができます。



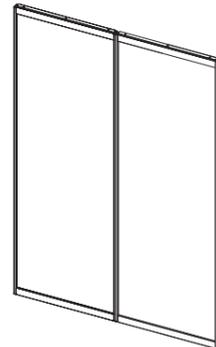
※FIX 単体で使用する場合は必要ありません。施工後に取り外してください。

⑥3枚目以降のFIXがある場合は、④設置手順の1.~5.の手順を繰り返して行ってください。

5 設置後の確認

FIX 設置後は必ず強度の確認を行ってください。

ガタツキがないか、接地面と並行を保っているかの確認を行ってください。



6 お手入れ方法

■ 扉のお手入れ

《通常のお手入れ》

やわらかい布でから拭きしてください。

《汚れているとき》

扉や床が汚れている場合は、やわらかい布に水で薄めた中性洗剤を浸し、かたく絞って拭き、乾いた布で拭き取ってください。



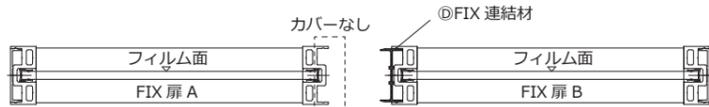
- シンナー、ベンジン、アルコールなどの洗剤は使用しないでください。変色・変質のおそれがあります。
- スチールタワシ、磨き粉は使用しないでください。傷や錆の原因となります。

7 扉組み合わせ表

《FIX2 連結 (+1 枚引き込み (右引き))》



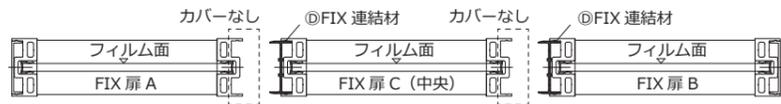
《FIX2 連結 (+1 枚引き込み (左引き))・FIX 連結単体》



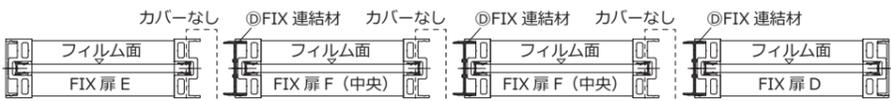
《FIX3 連結 (+1 枚引き込み (右引き))》



《FIX3 連結 (+1 枚引き込み (左引き))・FIX 連結単体》



《FIX4 連結単体》



8 アフターサービス

保証書

品名	クアドロスリム FIX連結(2連結・3連結・4連結)	お客様	お名前 様
保証期間	お買い上げ日から 1年	お客様	ご住所
お買い上げ日	年 月 日	お客様	電話
工事店	店名 電話		

※上記はお客様でご記入をお願い致します (サービスを依頼される際にお役に立ちます)

1. 正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、無償にて修理または部品を送付致します。
2. 保証期間内でも、次の場合は有償扱いとなります。
 - ア) 使用上の誤りおよび不当な修理や設置による故障および損傷
 - イ) 正しい使用方法をお守りいただけなかった場合の故障および損傷
 - ウ) 弊社以外の組立設置における、組立設置時の不注意または過失による故障および損傷
 - エ) 弊社以外の組立設置において、組立設置資料どおりに取付けを行わなかった場合や、分解改造などに起因する不具合。
 - オ) 設置床面の凹凸に起因する不良や、それに伴うメンテナンス作業 (扉の丁番調整など)
 - カ) 本来の目的以外の用途や一般家庭用以外 (例: 車両・船舶への搭載、業務用など) に使用した場合の故障
 - キ) お買い上げ後の取付場所の移動による故障および損傷
 - ク) 天災地変など不可抗力による故障および損傷
 - ケ) 電気製品における異常電圧、指定外の使用電源 (電圧、周波数) および外部ノイズなどに起因する不具合
 - コ) 消耗部品 (照明の蛍光灯・グローランプ・バッキン・カートリッジなど) の劣化に伴う故障および損傷
 - サ) 建築躯体の変形 (強度不足・ゆがみ) など製品本体以外の不具合に起因する製品の不具合および表面仕上げの色あせなどの経年変化、または使用に伴う摩擦などにより生じる外観上の不具合
 - シ) 砂やゴミ、給水・給湯配管のサビなど、異物流入および水あかの固着に起因する不具合
 - ス) 海岸付近や温泉地など、地域における腐食性の空気環境・公害に起因する不具合
 - セ) 温泉水や井戸水など、水道法に定められた飲料水のミネラル基準に適合しない水を供給したことによる不具合
 - ソ) 汚れやメッキ部品のサビ、カビなど、通常のお手入れ不足による不具合
 - タ) ねずみ、昆虫など動物の行為に起因する不具合
 - チ) 凍結による故障および損傷
 - ツ) 材料の性質上生じるもの (木・石など自然素材を使用したもの、または自然の風合いを狙った商品の微妙な色目や表面状態のばらつきなど)
 - テ) タバコの火、商品を傷める薬品 (有機溶剤、塩素系洗剤、強酸・強アルカリ等) の使用により発生した損傷
 - ト) 硫黄やアルカリ分を含む入浴剤による損傷
 - ナ) 建物完成後、入居までの間に管理などの不備により生じたもの
2. 仕上げキズ等で引き渡し時にお申し出がなかったもの
- 又) 保証書の提示が無い場合
- ネ) 保証書ご購入者様情報、お買い上げ年月日など必要事項の記入の無い場合、あるいは字句の書き替えられた場合
- ノ) 離島又は離島に準じる遠隔地への出張修理を行う場合の出張に要する実費
3. 本書は日本国内にて有効です。
4. 本書は再発行しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

廃棄処分について

廃棄処分の際は、必ず専門業者に依頼してください。

miratop

株式会社 ミラタップ miratop inc.

●お客様相談センター 受付時間はホームページにて最新情報をご確認ください。
<https://www.miratop.co.jp>
 TEL: 0120-468-838 FAX: 0120-382-096

